

大切な「日々淡々と」

明けましておめでとうございます。昨年はテロや内戦により、世界中を震撼とさせるようなことがあり、国内においても異常気象や火山の噴火等数多く起こり、多くの方々が被害に遭われました。国内はもとより世界中の多くに合気道の同胞がいらっしゃることを思うと、その度に心を痛めておりました。それでも月日は瞬く間に過ぎ去り新たな年を迎えました。それだけに、平穩に多くの会員の方々と越年稽古を行いながら新年を迎え、こうして皆様方にご挨拶が出来る事は本当に幸せであると思います。

合気道の活動全般については、特筆する大きな行事もなく、淡々と過ぎた年でございましたが、その事は(公財)合気会本部を中心に着実に国内外の普及活動が行われた事であります。昨年も全日本合気道演武大会、全日本少年少女合気道錬成大会、全国高校合気道演武大会、全国学生合気道演武大会等大きな行事が充実した内容で執り行われました。毎年、こうした大きな行事が淡々と行われておりますが、これらは多く時間と努力の積み重ねによって実施されているという事を忘れてはいけないと思います。

全日本合気道演武大会は(公財)合気会の登録道場・社会人団体・学生団体が年一回、日頃の研鑽の成果を発表する組織を挙げての重要な行事であるため当然の事とは言え、開催前の準備は大変なものなのです。参加者はそれぞれ年に一度の日本武道館での演武会だけに、年々開場前の参加者の列が長くなり、今年は北の丸公園からご注意を受けたいと思います。皆様は意気込みを感じられる、熱気溢れる5時間を超す大会となつたわけですが、その裏では、皆様に日頃の成果を存分に発揮していただけるよう多くの力が結集されているのです。

全日本少年少女合気道錬成大会、全国高校合気道演武大会、全国学生合気道演武大会は毎年参加者が変わっていきます。基本的なものを愛するに、いかに良い大会にして行くかは、「慣れ」だけで作り上げる事は出来ません。この様に、ごく普通に淡々と行われるという事は素晴らしい事なのです。それと同じに、日々淡々と過ごすという事は簡単な様に思えますが、実に難しい事だと思えます。何故ならしっかりと何事にも動じない心が備わっていないければならぬからです。特に最近は何が突然に起こるかかわかりません。想像もしないことが起こってしまったら、当たり前の事が当たり前になくなってしまったりしているからです。不測の出来事に対しても慌てず、騒がず冷静な心をもって、しっかりと前を向いて行く必要があると思います。そしてそのような心が備わるよう、日々の稽古をしていかなければと思っております。



合気道道主 植芝 守央

新春道言



毎月10日発行

発行所

東京都新宿区若松町17番18号 (郵便番号162 0056)

公益財団法人 合気会

(合気道本部道場)

編集人 可児 晋

電話03 (3203) 9236(代表)

FAX03 (3204) 8145

購読料

1ヵ年 2,500円

郵便振替

00150-0-49527番

ご購読は、なるべく上記振替口座をご利用下さい

道歌

合気にて
よろづ力を
働かし
美しき世と
安く和すべし

第54回 全自衛隊合気道演武大会

平成27年12月5日、第54回全自衛隊合気道演武大会が、東京都新宿区の防衛省市ヶ谷駐屯地体育館で合気道道主植芝守央先生のご臨席の下、全国各地に所在する陸・海・空自衛隊の駐屯地・基地の合気道部で稽古に勤む道友らが一堂に会し、盛大に行われた。

午前中は大澤勇人本部道場指導部師範による恒例の講習会が行われ、今年も初心者から高段者に至るまで150名近い参加者が集まり、大澤勇人先生の懇切丁寧な中にも熱気のこもる温かい指導をいただくことができた。

午後1時からの開会式では、西正典大会会長(防衛省合気道連合会会長)が「今年も日本全国の連合会の支部から多数の参加者が得られたことは、大きな喜びである。今年は富士地区支部をはじめ新しい支部も生まれ、今後の発展がますます楽しみである」と述べ、今年も演武大会が開催できる喜びを参加者一同と共有した。

続いて道主より、「全国の自衛隊で日々稽古されている人々がこの市ヶ谷に集まり、このすばらしい演武大会が開催されることをうれしく思う。日々の稽古の成果を発揮し、満足できる演武をしていただきたい」と旨のお言葉があった。

午後から行われた演武大会では、200名近くの演武者と100名を上回る観

越年稽古に200名



稽古は植芝道主の指導で行われ、参加者は隙間のないうち、黙々と稽古をした。稽古終了後、植芝道主から「こうして皆様と共に稽古を共にし、清々しく新年を迎えることに感謝致しております。気持ち新たに、稽古を大事にしながら今年も皆様と頑張っていきたいと思っております」と挨拶があり新年のスタートを切った。

初春稽古始め
平成28年の本部道場稽古初めは、6日午前6時半より、本部道場3階道場にて、稽古に先立ち植芝守央道主は、開祖資料室神前と本部道場3階道場で、行く年と来る年の祈りを奏上し、おめでとございます」と



道主を囲んで勢揃い

の支部もそれぞれの持ち味を生かしている様子がうかがわれた。OB演武では、田中五段、宮本五段がそれぞれの特徴を生かした演武を披露した。なお今年は、1月に昇段した菅原七段による昇段披露演武に注目が集まった。

プログラムの最後は道主による「総合説明演武」が行われた。参加者一同、真剣な眼で目の前で披露される道主の技の一つ一つを食い入るように見ていた。道主のよみがえり、躍動感あふれる動きに参加者からは驚きの声があがった。演武大会はその後、1年間を通じて顕著な活躍をした支部を表彰する優秀支部表彰、長年の功労者に対する功労者表彰を実施し、熱気の中、第54回大会は閉会した。

(防衛省合気道連合会理事(市ヶ谷本部支部部長) 西浦 克卓)

入身転換

合気道の輪がさらに広がることを願って新年を迎えた。先日、入門した人の合気道を始めたきっかけを聞いた。海外で現地の人に誘われて見た合気道に魅了されたことだった。今や、合気道の素晴らしい世界で共有できる時代となった。

一九七六年に創設された国際合気道連盟が四十周年を迎える。今年9月末に群馬県高崎市で4年に一度の国際合気道大会が開催される。世界各地から大勢の道友が高崎に集まる。近隣の温泉や世界遺産登録で話題になった富岡製糸場も道友で賑わうことになろう。

4年に一度と言えば、オリンピックイヤーの幕開けでもある。昨年来、各競技でリオデジャネイロ・オリンピックへの出場権を獲得した選手や団体の話題で盛り上がりつつある。32年ぶりに出場する水球男子選手の出場、ラケットワールドカップの日本代表選手たちと似通った強い意志を感じた。

一方、二〇二〇年の東京オリンピック・パラリンピックの準備で最も重要視されている国立競技場の建設計画がようやく昨年末に決まった。工期が決めたことになったようだが、「木と緑のスタジアム」のコンセプトで和風の雰囲気も評価された。

ところで、心配なのは猛暑対策だ。オリンピックは7月24日から8月9日と日本では最も暑い時期に開催される。パラリンピックの方は8月25日から9月6日で暑さの峠は過ぎてはいるものの残暑もありこれまた心配だ。出来る限りの対策を講じてもらいたい。(可児 晋)

(公財) 合気会 今年(平成28年)の主な行事	
1月6日(火)	稽古始め
1月9日(土)	全日本合気道連盟役員会(本部)
	全国道場・団体連絡会議(本部)
	新年賀詞交換会(京王プラザ)
10日(日)	鏡開き式(本部)
2月6日(月)	～2月4日(水) 寒稽古(本部)
2月6日(月)	指導者講習会(日本武道館研修センター)
3月18日(金)	(公財) 合気会理事会
4月1日(金)	2日(土)、4日(月)
	合気道学校前期開講式「上級・中級・初級」(本部)
26日(火)	開祖御命日、開祖・吉祥丸二代道主を偲ぶ会(本部)
29日(金)	合気神社例大祭(笠間市・合気神社)
5月(公財) 合気会理事会・評議員会(本部)	
28日(土)	第54回全日本合気道演武大会(日本武道館)
7月17日(日)	第38回全日本少年少女合気道錬成大会(日本武道館)
25日(月)	～8月3日(水) 暑中稽古(本部)
8月5日(水)	第15回全国高等学校合気道演武大会(東京武道館)
17日(木)	学校合気道実技指導者講習会
9月17日(水)	第12回国際合気道大会(高崎市新体育館)
10月1日(土)	2日(月)、4日(火)
	合気道学校後期開講式「中級・初級・上級」(本部)
11月26日(土)	第4回全国合気道指導者研修会(日本武道館研修センター)
12月25日(日)	第56回全国学生合気道演武大会(日本武道館)
12月31日(土)	稽古納め
	越年稽古(本部)

合気の理念は「愛気」である

公益財団法人合気会
常務理事 古藤昇司



謹んで新春のご挨拶を申し上げます。
つい先日、ふと思いついてDVDにて映画を鑑賞しました。「独裁者」という75年前に作られた

映画です。ラストシーンのチャップリンの演説が大変有名ですが、ご存知の方も多いと思います。自ら監督、脚本をつとめる映画において、ヒトラーがまた存命していた時代に、このような痛烈なファシズム批判をしたチャップリンの勇氣に改めて敬意を抱いた次第です。

この映画の中で、チャップリンは二役を演じています。一人はヒトラーとおぼしき独裁者、もう一人は彼に迫害されるユダヤ人の、とある床屋です。

まさにその時、勝利の壇上に現れるのはなんと、独裁者と瓜二つの床屋なのです。
これまで独裁と迫害を続けてきた人物は、民衆に力強く、「争いをやめ、平和の為に一人一人になるう」と語りかけます。ちょうど現代に語りかけているような演説です。

改めてこの有名な演説を聞きながら私が思い出したのは、二代目吉祥丸道主のお言葉でした。
二代目道主は「私が父

（開祖盛平翁）から合気道を受け継ぐ決心をしたのは、父が「合気道の合気は、愛気である」と私に喝破した時でした。合気道に平和を求める理念や争いを否定する精神、思想、技がなければ、一生の仕事とは考えなかつたでしょう」と話されたのでした。

今、世界では悲しむべき事件が次々と起こっています。憎しみは報復という形でいつまでも続くのではないかと不安な思いにこたえられる中、「私たちは皆、互いに助けあいたい」と思っている、人間とは本来そういうものなのだ」というチャップリンの言葉は時代を超えて、私たちに希望を与えてくれます。

平和を求め、勝敗を否定する合気道の理念が、民族を越えます。世界に普及されることを願います。本年も道友一人一人のご健勝を心より祈念申し上げ新年のご挨拶と致します。

合気神社月例祭のあと

茨城支部道場で「道主囲む」会

平成27年12月6日午前11時より、同年最後の合気神社月例祭が執り行われた。植芝守央道主は合気神社にて祝詞を奏上され、約110名が共に参拝し、その後記念写真の撮影を行った。

続いて正午より、例年の「道主を囲む会」が茨城支部道場で開催された。

まず主催者の飯島悦男茨城県合気道連盟理事長が挨拶を行った。続いて来賓の久須美忍等間市副市長、常井洋治茨城県議員、今泉寛等間市教育長など多くの方が祝辞、挨拶を行った。

その後、道主は今年も淡々と日々の稽古を行う事が出来ました。国内海外も確実に一歩一歩しっかりと歩んでいきます。来年も日々の稽古を大切にしていける所存です。来年も宜しくお願い致します」と挨拶をされた。

藤枝一弘茨城支部道場相談役からこの会は開祖からの会長のお言葉で乾杯を行った。

第19回関西地区合同研鑽会

第19回関西地区合気道合同研鑽会は昨年11月22日、大阪府豊中市立武道館「ひびき道場」で開催された。植芝守央道主、植芝充央本部道場長を招いての講習会は11時半から1時半まで行われ、参加団体数は関西地区をはじめ50団体、参加人数は550人となった。研鑽会に先立ち、主催者を代表して嶋本勝行合気道豊中正泉寺道場師範より開会の挨拶、植芝守央道主からのお互いに尊重しながら、皆様方の力で良い稽古にして頂きたいと思ひます」と挨拶があった。稽古では、植芝充央道場長が約45分、植芝守央道主が約1時間15分の稽古指導を行った。植芝充央道場長は入り身・転換・転身の基本動作をしっかり



道主による座り技呼吸法

確認し、指導を行われた。植芝守央道主は、そこから基本的な動作のもとに合気道の技が繋がっていることを強調して指導されていた。約2時間の稽古を皆しっかりと集中して稽古に取り組んだ。研鑽会終了後、会場を移し、植芝守央道主と植芝充央道場長代行を囲んでの懇親会が行われ、150名が参加した。関西地区合気道合同研鑽会は今回で19

京都府連 5周年講習会・演武会



本部道場長の四方投げ

京都府合気道連盟5周年記念講習会・演武会は、植芝充央本部道場長をお招きし昨年11月15日午後12時より旧武徳殿で行われた。大会主催者である坂根弘基京都府合気道連盟会長は、演武大会の参加者に感謝の意を述べた。続いて植芝充央本部道場長が「京都府合気道連盟設立5周年おめでとうございます。この大会を出発点として連盟の一層の発展を願っております」と挨拶した。

講習会・演武会には加盟21団体234名が参加した。講習会では植芝充央本部道場長の指導のもと、基本動作の入り身・転換・転身を確認後、基本技を中心に稽古を展開された。参加者は真剣に最後まで稽古に励み引き締まった講習会となった。また演武会では、参加者は日頃の稽古の成果を十分に発揮し活気ある演武を披露した。演武会の締めくくりとして植芝充央本部道場長による総合演武が行われた。

大会終了後は、場所移し祝賀会が行われ、盛会のうちに終了した。

ドバイは古くから貿易の中継地として栄えた地域だが、1966年の海底油田発見を機にその発展はエスカレートし、現在では中東地域の貿易、金融の中心地として、またブルジュ・ハリファやパーム・アイランドなど、世界的に有名なタワールやホテル、人口島を有する観光地としても発展を極めていく。

金・土の3日間2時間の稽古を計4回、最後に初段2名の審査を行った。同国はイスラム教国なので、金・土がお休みで日曜日は全くの平日となる。ドバイは85%近くが外国人で、UAEパスポートを持つ人は少数であり、稽古参加者もほとんどが外国人である。サウジアラビア、フィリピン、オマーンなどからも参加者があり、総勢60名が汗を流した。道場内にエアコンはついていて、なかなか温度調整はままならない。かなりの暑さになるが、最高50度にもなる真夏の暑さを経験している為か、集中を切らすことなく、稽古に没頭していた。

UAEにはアイトケン氏の主催団体を含めて4つの合気道団体が存在し、今後ますますの発展が期待される。（本部道場指導部師範 伊藤眞）

今回、第1回目となる演武大会でしたが、天候も良好で大勢の方に参加していただき、大盛況のうちに終了しました。これから合気道の交流を深めることができた。このように稽古を通して様々な方と知り合

い吸収しようとする真剣に取り組んでいました。参加者からは、直接の指導が受けとれ、会員にとっても良い刺激となりました。

講師の櫻井師範より、柔らかな中にも下半身はしっかりと。身体を使って、中心を大事にしましょう。と指導くださいました。また、会場を回りながらほぼ全員の手を取って熱心にご指導頂き、皆はしっかりと

会合（三重県合気道連盟主催）の挨拶で始まり、8歳から80歳の幅広い年代の参加者が日々の稽古で磨いた技を披露しました。また、日頃、お目にかかることのできない方も賛助演武として参加していただき、普段の稽古で習った技とは違う形を見ることができ、合気道の奥の深さを感じることができました。

演武大会開催前には、第4回三重県合気道連盟講習会と位置付け約2時間程度の稽古を行い、互いの道場間の交流を深めることができました。このように稽古を通して様々な方と知り合

岐阜・大垣で講習会 櫻井師範招き開催

岐阜一元会、平成27年11月22日、岐阜県大垣市武道館で、櫻井寛幸本部道場指導部師範をお招きし、講習会を開催致しました。当会が合気会本部道場から師範をお招きするのは今回が初めてであり、記念すべき講習会となりました。

岐阜一元会、平成27年11月22日、岐阜県大垣市武道館で、櫻井寛幸本部道場指導部師範をお招きし、講習会を開催致しました。当会が合気会本部道場から師範をお招きするのは今回が初めてであり、記念すべき講習会となりました。

また、会場を回りながらほぼ全員の手を取って熱心にご指導頂き、皆はしっかりと



伊藤師範による指導

伊藤眞

合気道探求51号発売

- ・道主対談 観世流宗家 観世清和
- ・新連載 合気道ゆかりの地をめぐる
- ・第37回全日本少年少女合気道錬成大大会
- ・技法講座 諸手取り呼吸法
- ・新連載 偉人たちの師 貝塚茂樹
- ・師範の横顔 渡引好文、堀越春芳

謹賀新年

全日本合気道連盟

理事長 尾崎 响
常任理事 林 典夫
同 宮本 鶴蔵
同 小林 幸光
他一同

国際合気道連盟

理事長 ピーター・ゴルフズベリ
事務総長 井沢 敬

東京都合気道連盟

北海道合気道連盟

会長 藤井 幸一
理事長 南雲 州治
(他会員一同)

東北合気道連盟

会長 日高 浩(岩手県)
理事長 船越光雄(山形県)
副会長 追分拓哉(福島県)
同 横山清一(秋田県)
同 白川勝敏(宮城県)
同 田辺孝美(青森県)

青森県合気道連盟

会長 田辺 孝美
理事長 米谷 恵司
事務局長 高坂 修一

岩手県合気道連盟

会長 日高 浩 副会長 竹鼻義徳
理事長 菊池敏昭 事務局長 大沢和義
(他会員一同)

合気道盛岡道場

盛岡合気道協会

宮城県合気道連盟

会長 白川 勝稔
理事長 角田 敏
(事務局)
仙台市泉区大沢二一六一九 渡邊方
senshin@s3.dion.ne.jp

秋田県合気道連盟

会長 横山 清一
一同

長岡市合気会

会長 渡辺 修一
会員一同

群馬県合気道連盟

代表 荒井 俊幸

合気道山徳道場

荒井 俊幸

茨城県合気道連盟

会長 藤枝 一弘
理事長 飯島悦男 常任理事 瀬尾 寿
常任理事 稲垣繁實 同 桑原 隆
同 渡引好文 理事・監事一同

水戸合気会

水戸市合気道スポーツ少年団

会長・団長 飯島 悦男
会員・団員一同

合気道修練道場自然館

館長 吾妻 正義
〒三五〇一三三五 埼玉県狭山市根岸一七七一六
電話 〇四一五五二九六七四

入間市合気道連盟

会長 関戸 章弘
入間幸武館道場
館長 中島 正吉

蓮田合気会

久喜合気道同好会

川合 英統

合気道大宮道場

会員一同

大宮合気道倶楽部

会員一同

埼玉県三郷市

三郷合気道会

草加合気道研究会

会長 中道 一也
副会長 宮澤 義治
<http://soukaikaiken.webnode.jp/>

浦和合気会

会長 林 昭男

A&P合気道石垣道場

道場長 石垣 晴夫
〒三三〇〇〇六一 さいたま市浦和区常盤九八一五 松本レノ三
電話・FAX 〇四八二二一〇六五〇

新所沢合気道同好会

師範 針 すなお
会長 山上 三十一
〒三五九一二二一 埼玉県所沢市緑町一六〇一七五〇二
電話 〇四三二九四一八〇一八六七
FAX 〇四三二九四一八〇一八六七
www.aikichubakken.org

千葉県合気道連盟

会長 高橋嗣慶 副会長 乾 泰夫
副会長 瀧田裕一 理事長 吉川 滋
〒二六三二〇五一 千葉県千葉市稲毛区園生町三三三二四八
電話 〇四七四八二一五八四一
www.aikichubakken.org

合気道花見川道場

道場長 等々力敏夫
〒二六二二〇四六 千葉市花見川区花見川六二〇二〇一
電話 〇四三二二五八二五七四三
FAX 〇四三二二五八二五七四三

野田合気会

会長 山中 紀光
会員一同

柏合気会

会員一同

北総合気会

代表 山田 博信
会員一同

合気道鍬守道場

道場長 鍬守 和徳
指導部長 松丸 裕

合気道明心会

会員一同

中野区合気道連盟
中野区合気道会

会長 松本 肇

合気道進藤道場

道場主 進藤 芳子
〒一三六〇〇七四 江東区東砂二丁目三番二号

葛飾区合気道連盟

新小岩合気会
合気道土井道場
葛飾合気会

中央区合気会
中央区合気会佃支部

会長 糸田 寛人
住所 千葉県稲毛区あやめ台二丁目二〇三
電話 〇四三二二五二一五 五八八九

荒川合気会

会長 酒井 光雄

港区合気会

代表 数家 誠司
会員一同
<http://www.minato-aiikai.com/>
info@minato-aiikai.com

新宿合気会

会長 周参見 紳次郎
会員一同

城南合気会

会長 塩崎 省三

謹賀新年

合気道熊野塾

道長 須川 勉

和歌山県新宮市元鍛冶町一五一

祖師谷合気会

会長 中村 文子

〒一五七〇〇五三
東京都世田谷区砧六一二六〇一十
電話 〇三三四一五一二四〇二

神奈川県合気道連盟

会長 松田 良昭
理事長 武田 義信

〒二四四一〇八〇五
横浜市戸塚区川上町四八六七

合気道研究会インターナショナル

会長 松田 良昭
代表 武田 義信

〒二四四一〇八〇五
神奈川県横浜市戸塚区川上町四八六七

大和合気道クラブ一同

合気道青葉塾道場

本 田 靖 生

事務局 土曜稽古会 木曜稽古会 日曜特別稽古会
〒二二五〇〇二一 横浜市青葉区すすき野三二二一
藤ハクセル一階 青葉教育企画センター
電話 〇四五九〇二一八〇八

合気道青葉塾道場 後期

静岡県合気道連盟

理事長 石原 克博
他 役員一同

〒四一六〇九四五
静岡県富士市宮島六四〇一
電話 〇五四五六一〇四七九

島根県合気道連盟

富山県合気道連盟

理事長 高木 博行

富山合気会

代表 島 恵司

道場 県営富山武道館
黒部市鎌成館
電話 〇七六五七一二九四

山梨県合気道連盟

理事長 若尾 重廣
事務局 千四〇〇〇六四
甲府市下飯田二八三二一六〇二
理事兼局長 土屋安男

長野県合気道連盟

会長 萩原 清

岐阜県合気道連盟

一宮合気会 岐阜道場
理事長 汲田 清造

〒五〇一〇四三一
岐阜県本巣郡北方町北一四五四
電話 〇五八二三三三三九
FAX 〇五八二三三三三四

愛知県合気道連盟

会員一同

尾張合気会

会長 滝本 清三
会員一同

大手前学院合気道教室

道場長 岩崎 一基

〒四五五〇〇四四
名古屋市港区築三町三五六
電話 〇五二六三三〇七四五

合気道四日市合気会

会長 畝原 正典
会員一同

津合気道会

杉田 憲司

大阪府合気道連盟

会長 嶋本 勝行
副会長 阿部 豊郎
理事長 木村 二郎
役員一同

公益財団法人
大阪合気会

代表理事 柳澤 健二

合気道大阪武育会

木村 二 郎
藪内 啓 壽
上村 和 康

合気道大阪道友会

会長 芋野 光弘

合気道豊中正泉寺道場

嶋本 勝行

恒心道場

大坂 恒

合気道洗心館

館長 平田 幸一
道場 大阪市北区南森町一三十三
藤隆ビルB1
電話 〇七四五七三三七三二

京都近江合気会

会長 高橋 光義

滋賀県合気道連盟

理事長 吉本 邦夫
副理事長 平野 誠
同 清水 正男

合気道滋賀本部

本部長 小川 良紘
五誓会会長 平居 忠雄
西尾昭二刀法
練成会会長 田辺 清晴
事務局 千五三二〇八三
彦根市河原一四一四
事務局長 福山浩丞

合気道紀南田辺塾道場

平野成秋先生門下生
正木 肇

神戸せいぶ館

館長 中尾 眞吾
道場長 濱崎 正司

相生會

堀井 悦二

岡山県合気道連盟
合気道正武会

主席師範 壬生川 堯一
門下生一同

広島県合気道連盟

会長 山本 治朗
副会長 北平 雅一
外 会員一同

鳥取県合気道連盟

米子合気会
倉吉合気会
合気道倉吉道場
合気道鳥取道場

山口県合気道連盟

会長 中村 克也
副会長 岡田 元昭

合気道敷島塾

会長 工藤 泰助
他 傘下道場一同
〒七七三〇〇二五
徳島県小松島市中田町海ノ内二三八〇
電話 〇八八五二三二二八〇

愛媛県合気道連盟

会長 橋田 一美
理事長 松田 正司

合気道合心館

館長 谷本 敏夫
松山市美沢二一四三三
電話・FAX 〇八九九三三四三三
http://aishinkan.sakurane.jp/

高松合気会

会長 西原 浩
会員一同

〒七六〇〇〇一三
香川県高松市扇町一三三三三八
電話・FAX 〇八七八二一八七〇四

熊本合気会

水前寺道場長 高本 和宜
合志道場長 多田 明
千八六〇〇八二
熊本市西区池田一三五一二二五
電話 〇九六一三五六一三五二八

天之武産合気至聖館
熊本道場

道場長 宮下 和道
専任師範 木村 義雄
師範代表 田島 勝徳
会員一同

佐世保合気会

会長 近藤 正人

祥雲
合気道祥平塾

菅沼 守人

公益財団法人 合気会
合気道本部道場

公益財団法人合気会 茨城支部道場

道場長 植芝 充央

顧問 藤枝一弘
相談役 磯山 博
指導部 永島義道
指導部長 稲垣繁實
指導部 渡引好文
指導部 大和田幸正
同 秋本英裕
同 川上俊明

日・サウジアラビア外交60周年記念

武道団勢71名を派遣

（公財）日本武道館、日本武道協議会主催（文部科学省、外務省後援）の日・サウジアラビア外交関係樹立60周年記念、サウジアラビア王国日本武道代表団は昨年11月10日から11月16日まで派遣された。（公財）合気会からは、小林幸光本部道場指導部師範、小谷佑一、里館潤両本部道場指導部指導員、岡崎遼、平野潤、飯澤諒の3氏が代表として派遣された。

9日に行われた結団式・壮行式では日本武道館・松永光会長より壮行の辞があった。

11月11日は団長他、各種目代表者22名がリヤド市内のサウジアラビア青年福祉庁を表敬訪問した。その他の団員たちは、13時〜15時キンクフアンドセキリテイカレッジにて、観客2000人を前に演武会が行われた。

11月12日午前9時から市内のアルタラビヤ・アルナムータジヤ小学校体育館にて小規模演武が開かれ、演武を各団体が披露し約200名が集まった。

13日、午後15時30分から市内のオリンピック・コンプレックスで、今回のメインとなる日本武道演武会が行われた。来賓として、アドゥラー・ビン・ムサーイド・ビン・アブドルアジーズ・アール・サウド青年福祉庁長官、奥田紀宏日本大使館特命全権大使も出席した。演武会後、体験稽古会が行われ、各武道、観客との交流が行われた。

14日、市内のホディマス・タースボーツセンター内の狼人道場（サディック・フセイン氏代表）にて、現地団体との交流稽古会が行われた。10時30分から小谷指導員、12時から小林師範の講習が1時間ずつ行われ、6団体から70名の参加。基本の動きがしっかりと出来ており、普段の稽古の質の高さを窺えた。

15日、現地のホテルにて解団式が行われ、無事成田に帰国した。

（本部道場指導部師範 入江嘉信）
露・ウラジオストク講習会に約70名参加
私（金澤）は、ロシア合気道合気会連盟の要請により、昨年12月4日から6日までロシア連邦のウラジオストクで行われた極東合気会主催の講習会で指導を行った。今回で極東合気会での指導は9回目になる。この講習会には地元ウラジオストクだけでなく、ロシア国内でも遠く離れたバシコルトスタンのウファ市、300キロほど離れたスバスクタニ市、100キロほど離れたウスリースク市などからの参加もあり、約70名が参加、3日間2時間の一般クラスが5回、1時間の有段者クラスが1回、1時間の子供クラスが1回行われた。一般クラスでは受け身、体捌きを確認しながら基本の質問にはきはきと答えて技を稽古、有段者と有級者で技を変えたりしながら進めることもあった。

有段者クラスではより細部に注意を払い、技の幅を広げて稽古した。子供クラスでは地元の50名の子供たちが集まり、受け身や膝行、正面打ち入身投げでは指導者の掛け稽古も行った。終始子供たちは私の質問にはきはきと答えて技を稽古、有級者と有段者で技を変えたりしながら進めることもあった。

え、元気一杯動いていた。地元指導者に聞いたところ子供たちは普段より騒ぐことなく稽古していた。そうである。やはり初対面の日本人の指導者に緊張していたのだろう。

期間中昇段審査も行われ、参段1名、武段2名、初段7名が昇段した。（本部道場指導部師範 金澤 威）



合気道代表団のメンバー

（公財）日本武道館、日本武道協議会主催（文部科学省、外務省後援）の日・サウジアラビア外交関係樹立60周年記念、サウジアラビア王国日本武道代表団は昨年11月10日から11月16日まで派遣された。（公財）合気会からは、小林幸光本部道場指導部師範、小谷佑一、里館潤両本部道場指導部指導員、岡崎遼、平野潤、飯澤諒の3氏が代表として派遣された。

9日に行われた結団式・壮行式では日本武道館・松永光会長より壮行の辞があった。

11月11日は団長他、各種目代表者22名がリヤド市内のサウジアラビア青年福祉庁を表敬訪問した。その他の団員たちは、13時〜15時キンクフアンドセキリテイカレッジにて、観客2000人を前に演武会が行われた。

11月12日午前9時から市内のアルタラビヤ・アルナムータジヤ小学校体育館にて小規模演武が開かれ、演武を各団体が披露し約200名が集まった。

13日、午後15時30分から市内のオリンピック・コンプレックスで、今回のメインとなる日本武道演武会が行われた。来賓として、アドゥラー・ビン・ムサーイド・ビン・アブドルアジーズ・アール・サウド青年福祉庁長官、奥田紀宏日本大使館特命全権大使も出席した。演武会後、体験稽古会が行われ、各武道、観客との交流が行われた。

14日、市内のホディマス・タースボーツセンター内の狼人道場（サディック・フセイン氏代表）にて、現地団体との交流稽古会が行われた。10時30分から小谷指導員、12時から小林師範の講習が1時間ずつ行われ、6団体から70名の参加。基本の動きがしっかりと出来ており、普段の稽古の質の高さを窺えた。

15日、現地のホテルにて解団式が行われ、無事成田に帰国した。

（本部道場指導部師範 入江嘉信）
露・ウラジオストク講習会に約70名参加
私（金澤）は、ロシア合気道合気会連盟の要請により、昨年12月4日から6日までロシア連邦のウラジオストクで行われた極東合気会主催の講習会で指導を行った。今回で極東合気会での指導は9回目になる。この講習会には地元ウラジオストクだけでなく、ロシア国内でも遠く離れたバシコルトスタンのウファ市、300キロほど離れたスバスクタニ市、100キロほど離れたウスリースク市などからの参加もあり、約70名が参加、3日間2時間の一般クラスが5回、1時間の有段者クラスが1回、1時間の子供クラスが1回行われた。一般クラスでは受け身、体捌きを確認しながら基本の質問にはきはきと答えて技を稽古、有級者と有段者で技を変えたりしながら進めることもあった。

有段者クラスではより細部に注意を払い、技の幅を広げて稽古した。子供クラスでは地元の50名の子供たちが集まり、受け身や膝行、正面打ち入身投げでは指導者の掛け稽古も行った。終始子供たちは私の質問にはきはきと答えて技を稽古、有級者と有段者で技を変えたりしながら進めることもあった。

え、元気一杯動いていた。地元指導者に聞いたところ子供たちは普段より騒ぐことなく稽古していた。そうである。やはり初対面の日本人の指導者に緊張していたのだろう。

期間中昇段審査も行われ、参段1名、武段2名、初段7名が昇段した。（本部道場指導部師範 金澤 威）

南仏・モナコで講習会

私（栗林）は昨年11月26日から12月1日まで、南フランスとモナコでの講習会の為、南仏プロヴァンス地方のマルチーク市、コートダジュール地方のムジャン市、そしてモナコを訪問した。

1レベルが上がり、フランス国内では様々な制限があったが、講習会の開催地である南フランスは比較的穏やかな状況であった。

講習会は26日のマルチーク（代表タミアン・ヴェルネツァ氏）を皮切りに行われ、27日には故山村信嘉師範の瑠美子夫人もご参加下さった。

28日には地中海沿いを西から東に移動、モナコで講習会を行った。

モナコは若い会長デビッド氏を中心として、本部指導者はじめ各方面の指導者を招いて精力的に行事開催している。また、昨年に続いて日頃から親交のあるベルギー合気会フランマン系会長ルーク氏も駆けつけてくれた。

最後の講習地はカンヌ隣りの小さな町ムジャンである。こちらで代表のデニス氏を中心と良くとまった団体であり、今回は団体の設立25周年も兼ねた行事となり、稽古後に関係者を集めて祝賀会が催された。

世界を取り巻く状況が不安定になる中、南フランスの合気道家達が真摯に合気道の修業に努める姿を見るのが出来、大変喜ばしく感じた。今後も彼等が熱心に稽古に取り組んでくれることを心から願った。（本部道場指導部師範 栗林孝典）

（本部道場指導部師範 栗林孝典）

（本部道場指導部師範 栗林孝典）

（本部道場指導部師範 栗林孝典）

南ア・フランチョックで講習会

合気道サウスアフリカ（ASA）主催によるナンシヨナルセミナーは12月9日から13日まで、大澤勇人本部道場指導部師範と日野皓正同指導員を招聘し、ケープタウンより60キロほど離れたフランチョックで開催された。ASA所属団体を中心にイタリア、ロシアなどより約100名が参加。

1日4回の稽古を大澤師範とロベルト・トラガルニASA師範が担当。大澤師範は四方投げや一教の基本技を、片手取り、正面打ち等で指導。12日には演武会が開かれ、ASA少年部による稽古法や各指導者による自由演武が披露され、最後は大澤師範による模範演武で締めくくられた。

また、講習会開催中に昇

から13日まで、大澤勇人本部道場指導部師範と日野皓正同指導員を招聘し、ケープタウンより60キロほど離れたフランチョックで開催された。ASA所属団体を中心にイタリア、ロシアなどより約100名が参加。

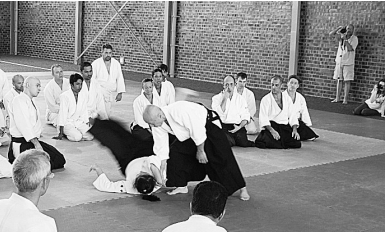
1日4回の稽古を大澤師範とロベルト・トラガルニASA師範が担当。大澤師範は四方投げや一教の基本技を、片手取り、正面打ち等で指導。12日には演武会が開かれ、ASA少年部による稽古法や各指導者による自由演武が披露され、最後は大澤師範による模範演武で締めくくられた。

また、講習会開催中に昇

から13日まで、大澤勇人本部道場指導部師範と日野皓正同指導員を招聘し、ケープタウンより60キロほど離れたフランチョックで開催された。ASA所属団体を中心にイタリア、ロシアなどより約100名が参加。

1日4回の稽古を大澤師範とロベルト・トラガルニASA師範が担当。大澤師範は四方投げや一教の基本技を、片手取り、正面打ち等で指導。12日には演武会が開かれ、ASA少年部による稽古法や各指導者による自由演武が披露され、最後は大澤師範による模範演武で締めくくられた。

また、講習会開催中に昇



大澤師範の四方投げ

級・段審査が地元師範によって行われ、級7名と段14名が審査を受け、講習会参加者やその家族ら約100名が参加した懇親会で全員合格が発表された。

演武会と懇親会には廣木重之在任南アフリカ日本大使館特命全権大使とムラット西ケープ地方スポーツ局長が臨席された。

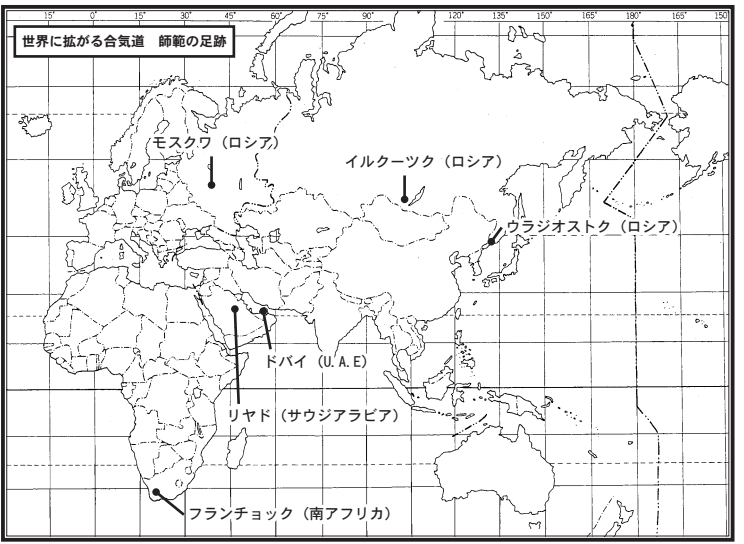
（本部道場指導部師範 栗林孝典）

（本部道場指導部師範 栗林孝典）

（本部道場指導部師範 栗林孝典）

（本部道場指導部師範 栗林孝典）

（本部道場指導部師範 栗林孝典）



世界に広がる合気道 師範の足跡

（本部道場指導部師範 入江嘉信）
露・ウラジオストク講習会に約70名参加
私（金澤）は、ロシア合気道合気会連盟の要請により、昨年12月4日から6日までロシア連邦のウラジオストクで行われた極東合気会主催の講習会で指導を行った。今回で極東合気会での指導は9回目になる。この講習会には地元ウラジオストクだけでなく、ロシア国内でも遠く離れたバシコルトスタンのウファ市、300キロほど離れたスバスクタニ市、100キロほど離れたウスリースク市などからの参加もあり、約70名が参加、3日間2時間の一般クラスが5回、1時間の有段者クラスが1回、1時間の子供クラスが1回行われた。一般クラスでは受け身、体捌きを確認しながら基本の質問にはきはきと答えて技を稽古、有級者と有段者で技を変えたりしながら進めることもあった。

有段者クラスではより細部に注意を払い、技の幅を広げて稽古した。子供クラスでは地元の50名の子供たちが集まり、受け身や膝行、正面打ち入身投げでは指導者の掛け稽古も行った。終始子供たちは私の質問にはきはきと答えて技を稽古、有級者と有段者で技を変えたりしながら進めることもあった。

え、元気一杯動いていた。地元指導者に聞いたところ子供たちは普段より騒ぐことなく稽古していた。そうである。やはり初対面の日本人の指導者に緊張していたのだろう。

期間中昇段審査も行われ、参段1名、武段2名、初段7名が昇段した。（本部道場指導部師範 金澤 威）

（本部道場指導部師範 金澤 威）

第12回国際武道大会のご案内

◆期間：2016年9月27日（火）～10月2日（日）
◆場所：高崎市新体育館（JR高崎駅近接）
海外50カ国以上から参加がある国際合気道大会。国内外の著名な師範による講習が毎日4クラス行なわれ、日曜日には、道主による講習会が予定されています。

	27日 (火)	28日 (水)	29日 (木)	30日 (金)	1日 (土)	2日 (日)
9:00～10:00	●	●	●	●	●	道主講習会
10:30～11:30	●	●	●	●	●	
15:00～16:00	●	●	●	●	●	演武会
16:30～17:30	●	●	●	●	●	さよならパーティー

●印は講習会

（本部道場指導部師範 栗林孝典）

（本部道場指導部師範 栗林孝典）

（本部道場指導部師範 栗林孝典）

（本部道場指導部師範 栗林孝典）

（本部道場指導部師範 栗林孝典）

（本部道場指導部師範 栗林孝典）

（本部道場指導部師範 栗林孝典）

（本部道場指導部師範 栗林孝典）

（本部道場指導部師範 栗林孝典）

（本部道場指導部師範 栗林孝典）

各道場の昇段者

27年11月15日～
12月 9 日
(公財)合気会登録

【四段】

◆本部道場＝鈴木貴樹、森圭司、G.Babin
◆凌雲志＝小川亮◆つくば牛久合気道友会＝中馬睦子◆鹿児島合気道錬成館＝秋田泰宏◆合気道神武錬成塾＝細山勇、阿部宗玄◆合心館谷本会＝高橋伯実、内藤隆司◆三河合気道研究会＝M. Ahmed◆三郷合気道会＝渡辺司◆志木合気会＝緒方喜博◆渋谷区合気道同好会＝M.Moug-inot◆小林道場＝氏家典子、和田学、クリストファー・遙盟◆杉並合気会＝L.Pow-ers◆袖ヶ浦合気会＝鈴木武洋◆大阪合気会＝持永清子、藤井正人、今堀結佳、構かおる、有田保、服部邦彦、登るみ子、木下竜哉、和田克利、武江多佳子、石渡和巳、山門均、林琢治、田野島勝一、中野友明、西村公克、西山明広、白濱千枝子、高仙坊健、山口泰信、立川勝義、亀山陽一、原田敏章◆大阪武育会＝行泰正人◆中野区合気道会＝原田譲◆長岡市合気会＝広田利栄◆天之武産合気塾＝阿部竜志◆里見八頭会＝小島康稔、横川惣◆倉吉道場＝石本一夫◆熊谷合気研究会＝高橋健二◆仙川合気道春風＝佐藤祐一郎◆紀州熊野合気会＝奥村則之、A.Calvo、B.Sarkka、A.Motei◆GERMANY＝H.Tren-tepohl、R.Kreuter、B.Scholz、S.Wallrich、A.Crawford、G.Mescherowsky、P.Radtke、P.Zelezny、C.Schmidt、D.Bannert、V.Platz、A. Voss◆SLOVAKIA＝R. Ilavsky◆AR-GENTINA＝G.Kraisman、L.Pinkler、P.Cor-siglia、D. Yahari◆FRANCE＝R.Nicola、G.Carriere、P.Simon、S.Pinochet、J.Papin、P.Rigoleur、R.Mattei、M.Tabet、N.Sicard、G.Prigent、P.Selosse、J.Blanc、M.Belayachi、C.Torre、A.Mimouni、L.Najman、C.Jacob、S.Cimino、G.Clerc、C.Dessi、P.Drouet、R.Estrampes、D.Lenoir、L.Tougne、C.Borie◆FINLAND＝T. Kurki、K. Karvonen◆SWITZERLAND＝H.Balmer、J.Subramani、M. Seki◆NEWZEALAND＝B. Bonita◆CANADA＝K.Purdue◆U.S.A.＝D.Kil-roy、D.Slater、S.Leigh、O.Pereyra、L.Agliardo、D.Dean、A.Cass、J.Castillo、D.Law、R.Ruilopez、D.Thomas◆HUNGARY＝Z. Vass、L. Toth◆UZBEKISTAN＝G. Djaparov◆CZECH＝J. Zeman◆SINGA-PORE＝李杰駿、李杰翰

【参段】

◆本部道場＝吉沢龍人、矢野敏樹、船山むつみ、森可威、平田勝彦、李聖傑◆つくば牛久合気道友会＝大森丘◆鹿児島合気道錬成館＝盛喜健◆尾張合気会＝加藤友啓、加藤文彦、加賀基晃◆奥飛騨円心会＝岩畑繁樹◆合気道神武錬成塾＝遠藤駿、服部卓◆江戸川合気会＝F.Salameh◆皇道館＝C.Thornton◆合気道研修会大阪＝中野静香◆合心館谷本会＝佐々木節也◆合気道三浦＝浦嶋俊安◆三郷合気道会＝上野宗徳◆合気道滋賀＝島田一子◆央名会春日井武道館＝松田翔◆小林道場＝張奕珍、李宏祺、倪必建、陳愷、大山智、綾田拓樹◆祥平塾＝井上尚宏、横林倫子◆杉並合気会＝D.Tokuda◆青葉塾道場＝谷岡聡◆船橋合気会＝井上忠久◆相模原合気道同好会＝林孝重◆大阪武育会＝永野慎一、新井慎、G.Baczun◆竹豊館＝坂本博志、朝加美好◆中野区合気道会＝小林桂子◆土井道場＝米重貴明◆藤沢合気道倶楽部＝多田美雪◆よみうりカルチャー横浜＝大澤正典◆よみうりカルチャー大森＝関本亨◆楠見西合気道クラブ＝福岡則子、増谷一十四◆緑が丘合気会＝三浦庄二◆緑水会＝寺崎尚子◆倉吉道場＝池田陽子◆熊谷合気研究会＝三浦浩彰◆孝子道場＝中筋和満◆合気求和会前沢道場＝笹森克信◆つくば合気道会＝田村修一◆紀州熊野合気会＝A.Grohn、N. Mera◆GERMANY＝V. Joksch、K. Hanna、B.Jonas、T.Merly、M.Jonas、M. Muller、B.Wagner、C.Hohner、M.Jakubith、

J.Balles、T.Lammel、T.Rausch、H.Bohlke、P.Leukel、B.Bartz、P.Klein、G.Hau、S. Worm、S.Bender◆POLAND＝R.Duda◆ARGENTINA＝A.Gil、G.Rojas、L.Molin-ero、A.Quiroga、H.Barabas、C.Dillon◆FRANCE＝R.Nicola、P.Simon、S.Pinochet、M.Tabet、P.Selosse、J.Blanc、M.Belayachi、C.Torre、A.Mimouni、L.Najman、C.Jacob、S.Cimino、G.Clerc、C.Dessi、P.Drouet、R.Estrampes、D.Lenoir、L.Tougne、C.Borie◆FINLAND＝K.Konkarikoski、K.Salokan-nel◆U.K.＝T.Ferrari、P.Thomas◆CAN-ADA＝L.Daws、N.Mckellar、M. Moreau◆U.S.A.＝J.Parsons、L.Goode、G.Lee、R.Lapalme、J.Golding、A.Mandell、M.Mar-quez、M.Braxton、E.Manalang、D.Khavich、A.Socia、K.Lit、E.Lavigne◆RUSSIA＝A. Galkina、P.Kalimanov◆NETHERLANDS＝L. Zijdel、A. Luyer、W. Timmerman◆SWITZERLAND＝H. Balmer、E. Klopfen-stein、S.Graf、E.Huber◆HUNGARY＝O. Prigya、A.Karancsi、R.Kollar、Z.Prigya、L.ElsnerJr.、A.Pok

【二段】

◆本部道場＝森澤学、園部沙織、J.Lewis◆白光船橋道場＝安保邦嘉◆凌雲志＝坂本俊也◆相馬合気道教室＝阿部広行◆鹿児島合気道錬成館＝市之瀬将輝◆源氣会＝鈴木啓明、大内克子◆山口合気会下田合気会＝松木正一郎◆パレストラ合気道クラブ＝日比野達彦、那須涼弥、松田七海◆合気道神武錬成塾＝菊田容二◆宮城赤門鍼灸柔整専門学校＝佐藤健◆群馬合気会＝加藤徹◆江戸川合気会＝高島苗穂子、阿部恵一◆皇道館＝T.Horlacher◆合心館谷本会＝加藤凌平◆国分寺合気会＝西谷敏昭◆合気道佐久道場＝月岡晃一◆合気道三浦＝石渡文久◆三河合気道研究会＝浅井俊光◆三郷合気道会＝森健◆志木合気会＝小原邦英◆合気道滋賀＝三原潤也◆央名会春日井武道館＝石田尾慶隆◆小林道場＝坂本美香、土屋京子、武部雅子、蕭聖雄、彭玉婷、鐘文科、黄志成、宗俊英人◆A.K.I.＝C.Rodgers、P.Lugg◆祥平塾＝塩田聡一郎、濱本彩子、小原昇、中尾一隆、田口勝一、櫻井美佐子、上田政美、中村圭吾、高橋幸基◆杉並合気会＝J.Gustafson、R.Hendranata◆心和会＝岸野将隆◆船橋合気会＝尾白正樹、A.Pring◆袖ヶ浦合気会＝岩部ジョリー、木島健太郎、石毛孝之、吉田哲也◆大阪武育会＝D.Wolowicz、C.Trzeciak、A.Bak、A.Koziolek、T.Filipkowski、J.Budziak、J.Slanina、F.Cavaco◆大泉合気道クラブ＝N.Radivojevic◆大塚道場明道館＝太田風馬◆竹豊館＝雑賀登眞◆中央区合気会＝鈴木望美◆中野区合気道会＝藤井建司、河上基也◆よみうりカルチャー大森＝土屋輝之◆楠見西合気道クラブ＝矢渡晴香◆尾山台地域体育館＝東海義英◆武産館＝笹雄多◆武産合気龍山会＝森聡彦◆福井合気会＝春木重幸、大石一美◆里見八頭会＝泉美菜◆緑水会＝森裕子◆倉吉道場＝福永正輝◆熊谷合気研究会＝小林憲一◆七曜会＝大久保武◆テイケイ合気道部＝二宮健一、松原幹根◆長谷川道場＝岡村俊克、蘭部律◆新川塾＝田端恭典、森千恵子◆つくば合気道会＝山本節子、相澤達也◆紀州熊野合気会＝T.Marttila、L.Malinen、R.Lieberherr、S.Reuge、J.Sahli◆大成合気道会＝池田勇、林誠◆京都大学体育会合気道部＝伊藤大智◆松山大学＝岡崎涉◆城西大学＝田中太平、穴山翔一、西田智貴、佐々木悠◆東京農工大学＝奥村恒、澤田真一◆東北大学＝岩田航◆法政大学＝馬場貴子、古川雄也◆北海道大学＝佐藤文美、畑瀬大樹、松本洋輔◆立教大学＝井上真秀、庄田雄貴、成田康平◆THAILAND＝P. Chunnananda◆GERMANY＝K.Wender、M.Kupper、A.Bal-las、S.Hain、E.Bomke、C.Muth、A.Nien-a-

ber、J.Nawrath、I.Lorenz、S.Prolingheuer、P.Borrmann、H.Romling、M.Szkatula、S. Pahl、P.Knoch、M.Muller、U.Schmitz、L. Cantero、E.Frick、A.Kreiner、R.Santl、E. Fink、H.Diels、S.Bucheler、M.Kunz、H. Schreuers、T.Schliwka、J.Liermann、T.Mann◆IRAN＝B.Arasteh、M.Panahi、A.Sagheb、A.Shahsavarani、S.Veysari、A.Khoshnoudi、A.Abdolhossein、H.Hatami、M.Arefkol、S.Khoshsiyar、D.Noshadha、M.Moshfegh◆SLOVAKIA＝D.Brezina、M.Brezina、R.Machalek◆ARGENTINA＝A.Diaz、G. Giarmana、P.Gobet、M.Blake、M.Balino、R.Cuomo◆FRANCE＝R.Nicola、P.Simon、M.Tabet、P.Selosse、J.Blanc、E.Pourajaud、M.Belayachi、C.Torre、A.Mimouni、L.Na-jman、C.Jacob、S.Cimino、G.Clerc、C.Dessi、P.Drouet、R. Estrampes、D. Lenoir、L. Tougne、C.Borie◆FINLAND＝J.Lyytinen◆U.K.＝J.Partridge、J.Briolon、J.Prowse、C. Cowan◆VIETNAM＝D. Pham、H. Nguyen◆CANADA＝D.Straley◆U.S.A.＝M.Boeder、E.Pierce、S.Santiago、R.Ba-con、F.Griffin、M.Thomas、B.Smith、K. Clark、A.Benno、A.Cuevas、D.Grace、J. Ksel、S.Spiller、A.Milton、B.Ksel、D. Roznowski、J.Watier、Q.Dam、T.Granoff◆RUSSIA＝M.Kuznetsov、Z.Adamyan、D. Dolgorev◆NETHERLANDS＝M. Re-don、H.Oldigs、M.Ponjee、B.Padje、R.Biek-man、L.Duchatteau、D.Willems、T.Huijgen、H. Cast◆SWITZERLAND＝M. Vollen-weider、W. Allegrini、B. Habegger、S. Luscher、S. Lehmann、E. Huber◆HUN-GARY＝S.Pal、K.Pocze、A.Szabo、C.Sze-meredi◆中国＝湯野茂、長尾由紀子

【初段】

◆本部道場＝竹内晟泰、加賀聡、橋本文隆、菅野貴裕、アームストロング・スコット◆相馬合気道教室＝鈴木志帆、J.Sarah◆常総合気会＝中尾靖彦◆鹿児島合気道錬成館＝大田輝、永野宏樹◆尾張合気会＝増田和仁、林祐里、加賀聖奈、濱田花緒◆ひたちなか合気会＝西澤浩子◆武友館袋井合気道場＝松本弘康◆奥多摩合気道会＝加藤哲禎◆安房館山道場＝田辺哲雄◆宮城大崎合気会古川道場＝伊藤信和、鈴木晴子◆合気道神武錬成塾＝石川慶典◆群馬合気会＝松井郁美、綿貫飛翔◆合気道研修会大阪＝津田健治、新子隆、ノリス・ワン◆合心館谷本会＝富山浩昌◆合気道佐久道場＝本多哲也◆桜道場＝村田泰代、南雲美由紀◆央名会子平塾蟹江道場＝居川ひろな◆志木合気会＝小原幸浩◆小林道場＝植木千恵、押野渚、藤本飛呂、陳義升、林思好、林泰仰、徐光為、陳玉珠、陳昌煜、林玉政、余世宗、趙望淮、本田富久◆合気道千葉千種道場＝T.Nasser◆松戸市役所＝小川璃奈◆祥平塾＝岡留未怜、織田磨子、山本学、野副貴夫、武田壮平、武田若奈、東喬太、湯川薫、丸尾伊織、劉灵馨、張天厚、黄強、蔡昕南、赵祎璇◆合気道須賀川道場＝根本佳季◆清進塾＝多武保明宏◆青葉塾道場＝湯浅直美◆A & P 石垣道場＝坂田智昭、植木史将◆大宮合気道倶楽部＝山野由紀子◆大県神社合気道同好会＝林和代◆大阪合気会＝大城理恵、後藤正美◆大阪武育会＝石津明彦、石津友美、石津佳奈子、溝端剛典、正林利晴、M.Szwe-dowski、J.Pino、F.Diaz、J.Bergara◆武育会岡山県支部＝神田真司、廣永真紀◆武蔵野合気道教室＝井田青子◆大手前学院＝田井信也◆竹豊館＝田中柚香、田中海香、田中万理、奥竜輝◆中央区合気会＝高尾和弘◆中野区合気道会＝酒井豊◆調布合気道会＝下道敏行、窪田一夫◆天心道場＝宮田辰弥◆天之武産合気塾＝A. Guterres、J.Goncalves◆田辺道場＝中尾信次郎◆藤沢合気道倶楽部＝西方徹、齋藤洋◆よみうりカルチャー横浜＝佐藤悠希◆よみうりカルチャー大森＝小林美智子◆尾山台地域体育館＝小山真、須田義和◆武産館＝中部屋一希、山本賢生◆武産合気龍山会＝松本春江◆福井合気会＝市橋秀樹◆倉吉道場＝尾西博文◆七曜会＝藤原朋子◆志陽館＝村上友里子◆長谷川道場＝小林良太朗◆飯田合気道研究会

＝菅沼賢人◆相模原力ルチャー＝安田彩乃◆央名会恵山道場＝阿部育代◆西伊豆合気会＝伊賀川大輝◆熊本合気会＝中村勝彦、富永瞬◆瑞浪道場＝山内祐介◆新川塾＝田端浩典、渡邊重人◆つくば合気道会＝菅野隆志、川越隆幸◆かすみがうら合気会＝斉藤薫◆紀州熊野合気会＝山本拓巳、R.Jarvinen、J.Intarasombut、P.Weib-el、D.Roesler◆高知工業高等専門学校＝北岡瀬梨香、小島大和、徳弘慧司◆大阪府立大学工業高等専門学校＝福本辰太朗◆大阪府立北千里高等学校＝佐藤良樹、尾崎あかり、石飛斗陽、石本雪梨花、大曾初音、中島明日香、林哲平、藤村晃、藤原末貴、森香月◆相模女子大学合気道部＝山崎実穂、下田香、増田光月◆京都大学体育会合気道部＝福井郭斗、大賀彩子、後藤慶太、由本美香、松田健嗣、森葵、大平溪子、内藤まい、村田祐菜、高橋あかね、市村晴香、若槻佑馬◆駒澤大学＝田村優佳◆滋賀医科大学＝渡邊敦子◆新潟大学＝山形京子◆大分大学＝井上寛昭、大崎甲一郎◆東海大学望星学塾＝木村憲◆東京経済大学＝佐藤佑樹◆東京農工大学＝新城葵◆名古屋商科大学＝角戸勇太◆立教大学＝染谷直輝、伊奈ともえ、大熊千里、小野寺渚、前田美紀、佐山康平、朴秀太、渡辺太地◆和歌山県立医科大学＝小形光、竹内崇、金奏希、坂本紗英花◆別府大学＝小野友佳理◆釧路公立大学＝福田一隼、泉本光輝、杉澤安美宇、磯田亮、柴田向亮◆立命館アジア太平洋大学（A P U）＝M.Jablonskyte、D.Darmawan◆電気通信大学＝毛利保寛、藤岡航希◆THAILAND＝J.Bemelmans◆CZECH＝P.Wiarek、M.Zareba、O.Kostyuk、M.Torok、L.Lenfeld、M.Hemerka◆PHILIP-PINES＝M. Chatila◆GERMANY＝M. Popp、L.Laur、M.Brand、S.Clausen、M. Erberich、D.Seven、C.Eijzinga、R.Wagner、M.Amann、V.Burau、A.Duckworth、N.Heit-mann、F.Rajouh、U.Becker、M.Endt、L.Froehlich、M.Gurskaya、L.Hardekopf、S. Makowski、A.Santl、A.Trondin、S.Uphoff、M.Bulow、N.Hausmann、M.Demmler、B. Grust、E.Hamel、C.Krastinat、C.Krause、R.Vergara、M.Matzerath、Y.Issing、C.Dachs、H.Kirmizikaya、M.Schwientek◆SLOVA-KIA＝O.Vrbsky、S.Horvathova、K.Susen、O. Mikulec◆AUSTRIA＝M. Skoczylas◆IRAN＝A.Amini◆POLAND＝O.Oleksy、P.Jorkowski、L.Wolny、J.Kacpura◆AR-GENTINA＝G.Espino、G.Candela、M.Lu-jaan、G.Morales、R.Lopez、M.Robles、F. Patron、E.Ruffinelli、D.Ferreyra、N.Patino、R.Salguero◆FRANCE＝M.Belayachi、C. Torre、A.Mimouni、L.Najman、C.Jacob、S.Cimino、G.Clerc、C.Dessi、P.Drouet、R.Estrampes、D.Lenoir、L.Tougne、C.Borie◆FINLAND＝S.Hanninen、C.Bergstrom、M.Ekblom、P.Peltoniemi、S.Peltoniemi◆VIETNAM＝T.Chu、G.Hoang、N.Hoang、D. Cong◆CANADA＝D. Arnold、J. Stub-son、J.Kirkland、S.Kurashina、D.Vandekraats◆U.S.A.＝T.Lima、B.Torelli、A.Arakawa、G.Colon、R.Kastelijns、M.Smith、C.Tanaka、F.Ibarra、D.Hernandez、G.Addison、O.An-dara、M.Sasaki、I.Ferran、W.Runyan、J. Borges、O.Gomez、D.Wilkes、J.Calduch、C.Torres、D.Graham、P.Cortina、J.Water-man、K.Krupp、C.Rodriguez、T.Lee、O. Pattillo、I.Cotto、D.Hoagland、A.Rodriguez、D.Dejesus◆RUSSIA＝V.Fursova、V.Che-rnov、Y.Aniskin、M.Ivanova、P.Korshunov、A.Movilyanu、A.Yavtukhovich、A.Vasiloy◆U.K.＝M. Compadre、L. Biegus、J. Mcclean、L.Zografos、D.Telford、A.Knight◆NETHERLANDS＝M.Bos、M.Vlug、J. Kroon、M.Wal◆SWITZERLAND＝A.Bula◆HUNGARY＝G.Szabo、J.Horvath、G.Fe-kete、G.Henap、E.Kovacs、B.Lorincz、L. Csanyi、G.Gurszky、L.Jarosi、G.Takacs、G.Gurszky、A.Barta◆U.A.E.＝M.Lang◆UZBEKISTAN＝A.Munavvarov、J.Mak-hamadjonov、A.Kamaev、M.Kasimov◆中国＝井上和人、鄭瑤、Y.Tsang、B.Aaron、S.Guesnier